

東京都八王子市における地域公共交通活性化・再生総合事業について

経緯

公共交通の現況

- 鉄道は7路線、21駅を有し、路線バス網は、市内全域に張り巡らされているが、道路幅員や傾斜地等の制約から民間バス事業者では運行できない公共交通空白地域が点在している。
- 上記の空白地域のうち優先度の高いところに、地域循環バス(はちバス)を2路線運行している。

課題

- 体系的なバスネットワークの構築
- 路線バスの利便性向上による利用促進の展開
- 「はちバス」の運行サービス等の改善
- 山間地域など交通空白地域におけるモビリティ確保
- 環境に配慮した公共交通の実現

活性化の目標・方向性

- 階層的でわかりやすく利便性の高いネットワークの構築を図る。
- 路線バスのサービス強化による利便性の向上を図る。
- 公共交通空白地域を改善し、住民の移動手段の確保を図る。
- 自動車から公共交通への転換による渋滞緩和・環境負荷の低減に貢献する。

【事業の内容（平成22年度）】

- 山間地域交通改善モデル事業
 - ・小津町地域バス
 - ・醍醐・降宿地区乗合タクシー
- はちバスの見直し事業(新規路線での実証運行、現路線での待合施設整備・利用料金の見直し)
- サイクルアンドバスライド事業

【今後の事業の方向性】

- 実証運行を継続するため、財源の確保に努めるとともに、本格運行に向けた費用の分担について検討する。

【案内図】

